



第1学年通信  
第8号  
2007.5.10

## 中学校はじめての中間テストまであと2週間!



テストがあるといつも頭に浮かんでくる言葉がある。

『何で勉強しなきゃならないんだろう...』

『何のために勉強するんだろう...』

まるで勉強をしたくないから、しなくてすむ理由を探しているかのように...

そこで、こんな風に考えてみたらどうだろう。

## 人間はなぜ勉強するの？

お腹のすいた人が、毒キノコを食べて命を落とし、毒のないキノコを食べた人が助かった。そのことが知識として私達に伝えられる。キノコひとつとっても、無数のそして無名の犠牲者(ぎせいしゃ)の生命と引き換えに知識が獲得(かくとく)されてきたのです。

これはほんの一例であって、今、生活しているものすべては、人間が長い年月をかけて苦心の末に創り出したうえでの知識であり、技術であり、すなわち文化なのです。その得られた文化(知識や技術)が、長い年月をかけて先祖より祖父母・父母から、そして学校やメディア(テレビや新聞など)によって子ども達に伝えられるわけです。

文化はリレー競走の時のバトンのようなものですね。何万、何億という人間が、何千年、何万年にわたって、この文化というバトンを持って走り続けてきたし、これからもより進歩して走り続けていくでしょう。

私達はその大リレー競走の第何番目か、第何億番目かの走者の一人なのです。しかも、自分の手で大きくすることができるのです。未来に受け渡すバトンを手にする事、それが勉強なんです。できることならでっかいバトンを渡してあげましょう。



## 何のために勉強するの？ 自分でなければできない仕事

人生の目的は、他人と競争することではなく、何か自分でなければできない仕事をする事だと思いませんか。他人との比較や競争から生まれるのはストレスやフラストレーションでしかないと思います。上には上が必ずといっていいほどいますからね。

ニュートンの例を挙げると、彼には競争心というものほとんどありませんでした。だいたい彼の時代でニュートンに競争心を起こさせるような人間は、世界のどこにもいなかったと言われればそのとおりかもしれません。が、彼は生まれつき競争心がほとんどなかった人らしい。それなのに、彼は学問の世界で偉大な仕事をなしとげたのです。他人との競争心ではなく、なぜ? どうして? というものに対する探究心がニュートンを偉大にさせたのです。

ニュートンに限らず、人生の成功者のほとんどは、他人との競争心に動かされて仕事(勉強)をするものではありません。他人など眼中(がんちゅう)にはなく、真実なるもの、善なるもの、美しいものをめざして仕事(勉強)を続けるのだとよく言います。

どうすれば幸せになるか、どうしたら幸せにしてあげることができるかをめざしているのです。そこで、自分に何が出来るか、自分にしかできないことは何かを常に考えてがんばること、これが勉強をする目的なんだと思います。



## 家庭訪問 ありがとうございました

### 家庭訪問で伺った質問について

先日は家庭訪問にご協力いただきありがとうございました。保護者のみなさまから頂戴しましたご意見やご希望を今後の学級経営やお子さんの指導に積極的に取り入れて参りたいと思います。貴重な時間を割いていただきましたことに、改めてお礼申し上げます。

- Q.スポーツリンクはいつから持っていいんですか?  
A.時期的には衣替えの頃からですが、今年はとても暑いので、クラブの顧問の先生に訊いてみてください。
- Q.テスト結果には順位がつくのですか?  
A.定期テストには順位は出しません。実力テストには順位別の10段階評価をお知らせします。詳しくはまた成績返しの時にお知らせします。
- Q.朝の保護者のあいさつ運動は?  
A.本年度の朝のあいさつ運動はありません。ご心配をおかけしました。